

私の秋送り2024

横尾山山腹 野路菊の丘で

2014.11.14. 快晴の午後



兵庫県の花「野路菊」
花言葉は「真実」
山裾の崖や道端にそっと咲く花
気取らず、ありのままの姿の親しさ

諸魂日のある11月の下旬 須磨の海や西神戸を遠望する横尾山山腹の野路菊の丘を真っ白にして
野路菊の花が咲きだすと丘に登って先に逝った先輩諸氏や友人仲間を思い浮かべつつ、
わが身を振り返えり、ひとときを過ごす毎年私の「秋送り」。

11月15日快晴 眼下に広がる須磨の海・西神戸の街を眺めつつ、唄を口ずさみ、私の秋送り

2024.11.14. Mutsu Nakanishi





横尾道から見上げる横尾山山腹野路菊の丘が白くなり始めたのが見え、待ちかねた野路菊が咲き始めた 2024.11.14.
快晴の午後 今日野路菊の丘に登って 本年先に逝った世話になった諸先輩や仲間を思い浮かべつつ、2024年私の秋送り



2024.11.14. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi
山腹を真っ白にするにはもう1週間かなあ・・・

私の秋送り2024
横尾山山腹 野路菊の丘で

2014.11.14. 快晴の午後



山裾の崖や道端にそっと咲く小菊「野路菊」須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi 2024.11.14.

兵庫県の花「野路菊」
花言葉は「真実」
山裾の崖や道端にそっと咲く花
気取らず、ありのままの姿の親しさ
そっと寄り添ってくれる小菊です



2024.11.14. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi

私の秋送り2024

横尾山山腹 野路菊の丘で 2024.11.14.

本年は老いと向き合う80代、なんとなく人恋しい
今健康でいることに感謝しつつ、
先に逝った人たちへの思いはひとしお

放浪の歌

♪そんなにお前はなぜ嘆く
草のしとねに寝ころんで
私の言うことお聞きあれ
人の浮き世の見栄を捨て

♪口笛吹いて気を晴らせ
うつつの夢を見ていやれ
くたびれ休みに山を見て
腹が減ったらまた歩け

もしとつ減ったら・・・
・・・・・・・・・・

惜別の歌

♪遠き別れに耐えかねて
この高楼に登るかな
悲しむなかれ 我が友よ
旅の衣をととのえよ

♪別れを言えば昔より
この人の世の常なるを
流るる水を眺むれば
夢恥ずかしき涙かな

♪君がさやけき眼の色も
君 虹の唇も
君が緑の黒髪も
またいつか見ん この別れ

時代が大きく変わる転換期、ゆっくりとひと時を過ごすことができました
先に逝った先輩諸氏・仲間・知人 みんな みんな ありがとう

God be with You!! & You Raise Up Me!!

2024.11.14. From Kobe Mutsu Nakanishi



私の秋送り2024
横尾山山腹 野路菊の丘で 2014.11.14. 快晴の午後



2024.11.14. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi
山腹を真っ白にするにはもう1週間かなあ・・・



2024.11.14. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi
山腹を真っ白にするにはもう1週間かなあ・・・



2024.11.14. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi
山腹を真っ白にするにはもう1週間かなあ・・・



2024.11.14. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi
山腹を真っ白にするにはもう1週間かなあ・・・



2024.11.14. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi
山腹を真っ白にするにはもう1週間かなあ・・・



2024.11.14. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi



2024.11.14. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi



兵庫県の花「野路菊」
花言葉は「真実」
山裾の崖や道端にそっと咲く花
気取らず、ありのままの姿の親しさ
そっと寄り添ってくれる小菊

2024.11.14. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi



2024. 11. 14. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi





私の秋送り2024
横尾山山腹 野路菊の丘で 2014.11.14. 快晴の午後



2024.11.14. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi

私の秋送り2024

横尾山山腹 野路菊の丘で 2024.11.14.

本年は老いと向き合う80代、なんとなく人恋しい
今健康でいることに感謝しつつ、
先に逝った人たちへの思いはひとしお

放浪の歌

♪そんなにお前はなぜ嘆く
草のしとねに寝ころんで
私の言うことお聞きあれ
人の浮き世の見栄を捨て

♪口笛吹いて気を晴らせ
うつつの夢を見ていやれ
くたびれ休みに山を見て
腹が減ったらまた歩け

もしとつ減ったら・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・

惜別の歌


♪遠き別れに耐えかねて
この高楼に登るかな
悲しむなかれ 我が友よ
旅の衣をととのえよ

♪別れを言えば昔より
この人の世の常なるを
流るる水を眺むれば
夢恥ずかしき涙かな

♪君がさやけき眼の色も
君 虹の唇も
君が緑の黒髪も
またいつか見ん この別れ

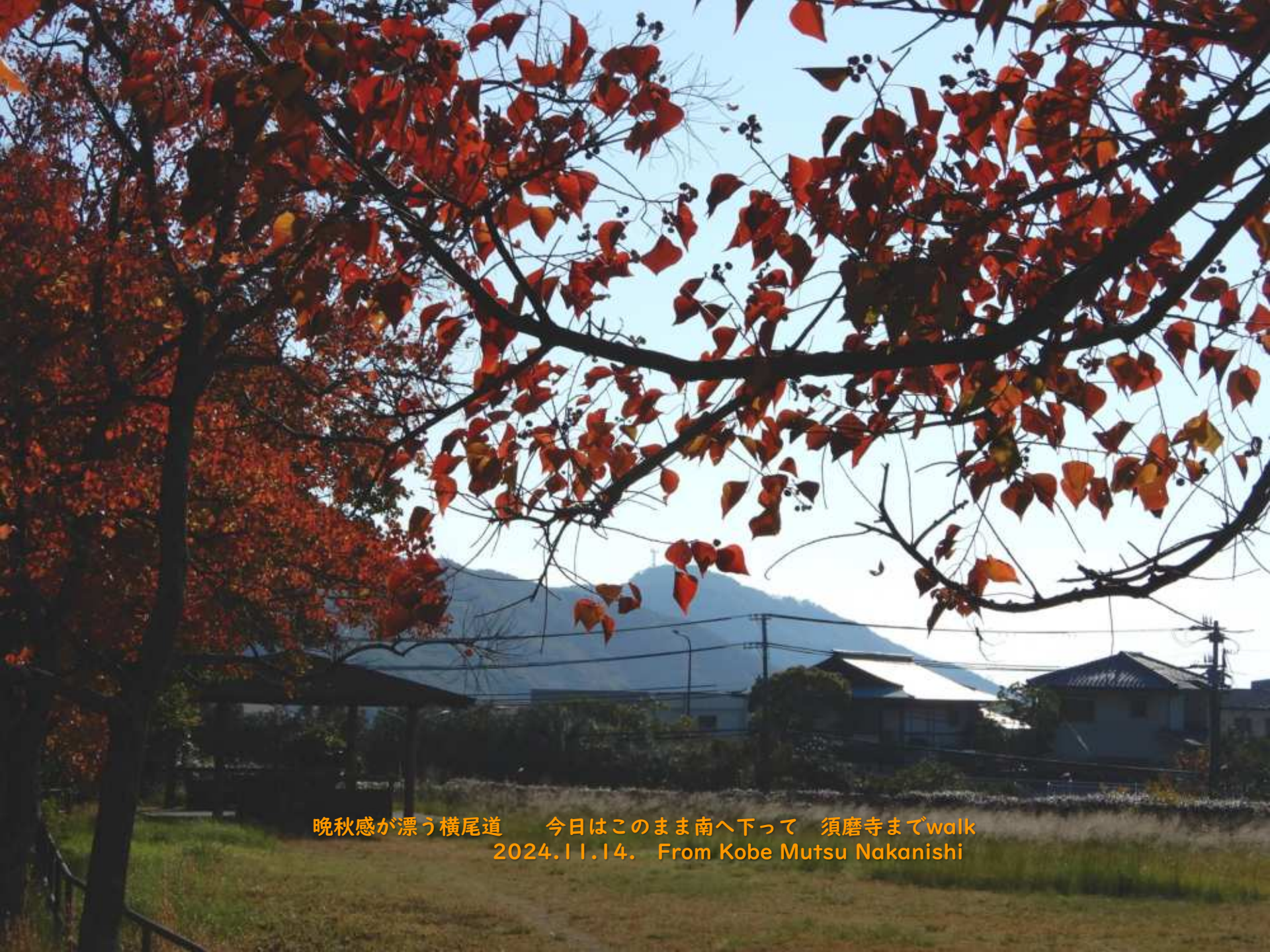
先に逝った先輩諸氏・仲間・知人 みんな みんな ありがとう
God be with You!! & You Raise Up Me!!

2024.11.14. From Kobe Mutsu Nakanishi




藤袴の栽培地の花も咲き終わり。厳しい本年の気象変化の影響を受けて、
横尾山山腹も旗振り山山頂にもアサギマダラの飛来を残念ながら飛来を確認できませんでした。
元気に南へ渡っていったらどうか・・・
秋も間もなく終わり。 横尾道へ降りて

2024.11.14. From Kobe Mutsu Nakanishi
「秋送り」をすませて なんとなく一息 Good Day!! また元気に毎日を!!



晩秋感が漂う横尾道　今日はこのまま南へ下って　須磨寺までwalk
2024.11.14. From Kobe Mutsu Nakanishi

A small bird, likely a Shoubitaki, is perched on a dark, textured branch. The bird has a brownish head and back, with a lighter, possibly white or pale yellow, patch on its wing. Its tail is a darker reddish-brown. The bird is facing right. The background is a dense thicket of green leaves, some of which are slightly out of focus. The lighting is bright, suggesting a sunny day. The overall scene is a natural, outdoor setting.

最近天候が安定して、西六甲の山すその散歩道で、たくさん野鳥に出会うのですが中々Photoに収められず。今日はやっと「ショウビタキ」をパチリ。うれしい1枚です
須磨離宮への散歩道で 2024.11.14.




夕暮れ近く 須磨寺で 2024.11.14.
From Kobe Mutsu Nakanishi



夕暮れ近く左端西六甲西端の山並を背に 須磨寺 須磨寺公園 浮御堂より 2024.11.14.
須磨の秋景色 From Kobe Mutsu Nakanishi



須磨の秋景色 夕暮れ近く 須磨寺で 2024.11.14.
From Kobe Mutsu Nakanishi



兵庫県の花「野路菊」
花言葉は「真実」
山裾の崖や道端にそっと咲く花

気取らず、ありのままの姿の親しさ
そっと寄り添ってくれる小菊

私には 毎秋 かかせぬ花
今日も一日 Good Day!!



先に逝った先輩諸氏・仲間・知人 みんな みんな ありがとう
God be with You!! & You Raise Up Me!!
2024.11.14. From Kobe Mutsu Nakanishi